

コース名		科目名		※注意：一部、シラバス冊子から改変されています（揭示されます）。本シラバスが授業予定となります。				対象学年
公衆衛生社会医学		法医学						4
開講学期		科目責任者		副責任者				全体資料
1・2 学期		大槻 剛巳		西村 泰光				無
授業到達目標								
1.法医学という学問領域について大要を説明できる。 2.検死にあたっての注意点を挙げることができる。 3.死因別死体観察の要点を説明できる。 4.死亡診断書（死体検案書）などの書類を正しく記載することができる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1	4/16	火	5	講義	宮石	非常勤/学園外	総論 1（法医学の定義、社会的役割など）	B-2
2	4/16	火	6	講義	宮石	非常勤/学園外	総論 2（法医学診断とは、異状死体の概念）	B-2
3	4/16	火	7	講義	宮石	非常勤/学園外	個人識別：個人識別の考え方と方法、白骨の個人識別など	B-2-1)-4
4	4/23	火	5	講義	宮石	非常勤/学園外	早期死体現象：体温変化・角膜の混濁・死後硬直・死斑など	B-2
5	4/23	火	6	講義	宮石	非常勤/学園外	晩期死体現象：腐敗・自家融解・ミイラ化・屍蠅化・白骨化など	B-2
6	4/23	火	7	講義	宮石	非常勤/学園外	内因性急死：定義、概念、疫学、具体的疾患など	B-2
7	5/21	火	5	講義	木下博	非常勤/学園外	損傷総論	B-2
8	5/21	火	6	講義	木下博	非常勤/学園外	損傷各論：鈍器損傷・鋭器損傷・その他	B-2
9	5/21	火	7	講義	木下博	非常勤/学園外	損傷による死因	B-2
10	6/ 6	木	5	講義	吉留	衛生	中毒総論	B-2
11	6/ 6	木	6	講義	吉留	衛生	中毒各論：一酸化炭素・アルコール・睡眠薬・農薬・乱用薬物・毒物など	B-2
12	6/ 27	木	5	講義	宮石	非常勤/学園外	生体、小児、嬰兒：性に関する法医学、小児虐待、嬰兒殺：生産死産の鑑別・発育の程度など	B-2
13	6/ 27	木	6	講義	宮石	非常勤/学園外	窒息 1	B-2, D-10-3)-2 D-10-5)-1
14	6/27	木	7	講義	宮石	非常勤/学園外	窒息 2	B-2, D-10-3)-2 D-10-5)-1
15	7/ 1	月	3	講義	宮石	非常勤/学園外	異常死 1：総論、高温環境による死亡	B-2, E-9-1)-3
16	7/ 1	月	4	講義	宮石	非常勤/学園外	異常死 2：低温環境による死亡、感電死、飢餓死など	B-2, E-9-1)-3

17	7/1	月	5	講義	宮石	非常勤/学 園外	演習1：死亡診断書（死体検案書）作成の注意と模擬作成	B-2-1)-2, B-2-1)-3 B-2-2)-3, E-9-1)
18	7/1	月	6	講義	宮石	非常勤/学 園外	演習2：講評と解説	B-2-1)-2, B-2-1)-3 B-2-2)-3, E-9-1)
19	10/8	火	1	講義	吉留	衛生	まとめ	B-2, D-10- 3)-2 D-10-5)-1, E-9-1)

評価割合・基準・方法

[期末試験] 90%（五肢択一あるいは択二の問題を e-Testing で実施する。これに法医解剖見学実習報告書と学習態度を勘案し、最終的な評価とする。）
 [レポート] 5%（岡山大学法医学分野にて、法医解剖見学を行い、十分なレポートを提出する。この見学実習への、最低1回の参加は必須であり、不参加者・レポート不可の場合には、ユニットとして欠点となる。）
 [実習点] 5%（岡山大学法医学分野にて、法医解剖見学を行い、十分なレポートを提出する。この見学実習への、最低1回の参加は必須であり、不参加者・レポート不可の場合には、ユニットとして欠点となる。）
 [評価方法] 多肢選択試験, 論文・レポート, 実習態度評価
 [備考] e-Testing および岡山大学での法医解剖見学実習の説明は、環境社会医学の見学・実習オリエンテーション時（4月1日（月）3限）に行う。ネットワーク利用承認書に記載のID・PWが必要となるため、各自確認しておくこと。
 ・法医学は、主に他学の非常勤講師の先生に講義をお願いしている。社会的な礼節を弁え、失礼のないように受講すること。
 ・評価については、マルチメディア教室での e-Testing を実施する。
 ・試験成績、法医解剖見学実習について、その参加とレポートの評価を加えて最終成績とする。ただし、法医解剖見学実習については、最低1回の参加を必須とし、不参加ならびに参加したものの十分なレポートと認められない場合には、ユニットの評点を欠点とする。
 ・法医解剖実習は、予定出来るものではなく、Eメールによる連絡によって、学期中は週末の実施について、長期休暇中には、週末以外でも実施される場合に連絡を行う。2学期開始までに参加を義務付ける。可能な限り、早期に参加することが望ましい。

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて

講義終了後、あるいは試験前にあった質問については、単にその場での回答にとどまらず、その後の全体に対しての補足を行うよう心がけている。
 法医解剖見学の報告書の内容は岡山大学の教員とともに十分に吟味し、理解が不十分と考えられる部分がある場合には、全学生を対象に補足説明を行い、また次年度の講義や見学実習の事前説明などに反映させている。
 試験の成績によって、必要と考えられた部分についての補充授業（対象は全員であるが出席は任意）を適宜行なっている。

教科書

ISBN-9784260015929, 標準法医学, 監修：石津 日出雄/高津 光洋 編集：池田 典昭/鈴木 廣一, 医学書院, 2013/10/25

参考書

ISBN-9784525190262, 学生のための法医学, 田中 宣幸, (株)南山堂, 2006/11/01

ISBN-9784263207970, NEW エッセンシャル法医学, 高取 健彦 (監修), 長尾 正崇 (編集), 山内 春夫 (編集), 中園 一郎 (編集), 医歯薬出版, 2012/07/01

ISBN-9784875110859, 死亡診断書・出生証明書・死産証書記入マニュアル (平成7年版), 厚生統計協会, 厚生統計協会, 1995/02
 厚生労働省「平成30年度版死亡診断書（死体検案書）記入マニュアル(https://www.mhlw.go.jp/toukei/manual/dl/manual_h30.pdf)

準備学習（予習・復習等）

それぞれの講義内容について、教科書・参考書を利用して最低でも1時間以上、予習と復習を行うこと。

講義についての注意事項

評価方法の備考にも記したが、本ユニットでは18コマの講義に加えて、岡山大学法医学教室での法医解剖の見学・実習を必須とする。但し、法医解剖は予定があって実施される訳ではないので、教員担当者からの連絡を受け、週末や長期休暇を使って、期日までに最低1回の参加を義務付ける。詳細は後日連絡する。

オフィスアワー、連絡先

衛生学 大槻 剛巳 金曜日：午後

他の先生への連絡についても大槻を介していただければ幸いです。法医学領域は特任教授の先生と非常勤講師の先生によるため、なかなか学内ではお会いできないと思いますので、連絡を取ります。

また、学会や大学業務出張などで不在の場合もあります。その場合には、メール（takemi@med.kawasaki-m.ac.jp）で連絡を取ってください。出張先でも対応可能です。

内容などに関することについては吉留敬（kei_y@med.kawasaki-m.ac.jp）あてでも対応できます。

昨年度からの変更点・改善項目

(特になし)

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について

本科目履修により、病むことの意味を理解し、新しい医学に貢献できる生涯にわたる自己研鑽の継続力や EBM 実践力を養う。環境社会医学と合わせて、卒後の臨床研修を開始するために必要な医学知識を習得する。

ナンバリング

SLLM421